

令和2年度 経営発達支援計画評価委員会 報告書

経営発達支援計画とは

小規模事業者の持続的発展を図ることを目的に、商工会議所・商工会が、小規模事業者による事業計画の作成及びその着実な実施を支援することや、地域活性化につながる展示会開催等の面的な取組みを促進するため、小規模事業者の技術の向上、新たな事業の分野の開拓その他の小規模事業者の経営の発達に特に資する支援計画を「経営発達支援計画」として経済産業大臣に申請し、認定する仕組みのことであります。

刈谷商工会議所は、平成30年3月に経済産業大臣の認定を受け、平成30年度から5ヶ年計画に基づき、主に経営指導員5名が経営発達支援事業を実施しております。

支援の対象となる小規模事業者とは

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	従業員20人以下
商業・サービス業	従業員5人以下

※刈谷市内には、「平成28年の経済センサス活動調査」によると3,305件の事業所がございます。

次ページより、令和元年度の「Ⅰ. 経営発達支援事業の内容について」「Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取り組みについて」「Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組について」を報告します。

【評価基準】

- A：目標を達成することができた。(100%以上)
- B：目標を概ね達成することができた。(80%～99%)
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%～79%)
- D：目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)

【評価方法】

目標数値に対する達成度を目安としてA～Dの評価を行い、「評価内容」欄にA～Dそれぞれの評価を行った評価委員の人数を記載します。また、枠外に評価委員から挙げた実施内容に関する評価、問題点・課題、改善への提言等を掲載します。

(敬称略)

評価委員			
1	委員長	刈谷商工会議所副会頭	鈴木 豊
2	委員	刈谷モノづくり大学専門家 中小企業診断士	神谷 正仁
3	委員	刈谷モノづくり大学専門家 中小企業診断士	照井 清一
4	委員	刈谷市産業環境部商工業振興課 係長	嶋田 宏司
5	委員	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 主任研究員	太田 幸伸
6	委員	日本政策金融公庫岡崎支店 国民生活事業 融資第二課長	福山 敏一
7	委員	愛知県信用保証協会 経営支援部支援連携課 副長	大野 耕嗣

I. 経営発達支援計画の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

【事業内容】

(1) LOBO調査（※補足資料①）

商工会議所LOBO調査（早期景気観測）とは、商工会議所のネットワークのもと、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景気感」を毎月調査するもので、刈谷市管内の経済動向を的確に把握するため、刈谷市内の5業種（製造業、建設業、卸売業、サービス業）の100企業の対象企業（うち小規模事業者50社）に対してFAXで調査依頼・回収を行った。

(2) 外部支援機関が行う経済動向調査（※補足資料②-1、②-2）

「中部経済産業局 管内総合経済動向調査」や「東海財務局 県内経済情勢報告」の公表資料を収集し、経営指導に役立てた。

(3) 小規模事業者経済動向調査（※補足資料③）

当所では、決算指導会に参加する小規模事業者に対して、「売上・利益など決算状況」、「小規模事業者が抱える経営課題」、「商工会議所に求める支援内容」について収集・分析をした。回答件数は212件であった。

【目標・実績・達成率】

実施内容	令和2年度			
	目標	実績	達成率	評価
LOBO調査	月1回	月1回	100%	A
外部支援機関が行う経済動向調査	年4回	年4回	100%	A
小規模事業者経済動向調査	年1回	年1回	100%	A

I. 経営発達支援計画の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

【評価】

A	B	C	D
6	0	0	0

【委員のコメント】

- ・直近の経済動向を把握するのに有効。新型コロナウイルスの影響についてなど臨機応変な調査で良い。
- ・全国の全産業LOBO結果と比較すると刈谷市内の企業の動向は昨対比マイナス幅が若干低くなってはいるが、△38.5%と大変厳しい状況であり、会議所としても積極的にサポートしていく必要がある。
- ・各種調査を適切に実施されていると思います。市への情報提供もいただいております。

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【事業内容】

経営指導員による巡回・窓口指導を通じて、小規模事業者の経営者に対してのヒアリング等により、定量面である売上・利益の増減や定性面である経営者の現状認識について聴取する「①簡易分析」を行った。

簡易分析の結果から、問題点を有する事業者が行う改善への取組や新たな事業を行う取組など、意欲ある事業者に対して、経営指導員が小規模事業者の経営者との打合せを通じて、定量面による決算書からの財務分析や定性面によるSWOT分析の「②詳細分析」を行った。

【実施内容】

①簡易分析（小規模事業者数を集計）

支援分類	分析数
マル経融資（一般枠・コロナ対策別枠） ※名簿①	38
持続化補助金申請支援（一般・コロナ特別対応） ※名簿②	71
かりや商人大学 ※名簿③	8
経営革新計画策定支援 ※名簿④	5
固定資産税等の軽減措置申請支援 ※名簿⑤	4
先端設備導入計画策定支援 ※名簿⑥	3
計	129

②詳細分析

支援分類	分析数
マル経融資	38
小規模事業者持続化補助金申請支援	71
経営革新計画策定支援	5
先端設備導入計画策定支援	3
計	117

【目標・実績・達成率】

実施内容		令和2年度			
		目標	実績	達成率	評価
経営指導員による 経営分析件数	簡易分析	80件	129件	161%	A
	詳細分析	40件	117件	293%	A

※詳細分析は、簡易分析の内数である。

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【評価】

A	B	C	D
6	0	0	0

【委員のコメント】

- ・目標を大きく超えて実施。
- ・簡易&詳細経営分析の実績件数については素晴らしい。また、融資や持続化補助金申請サポートについては、提案型での発掘を積極的に推進することが有益。但し、補助金ありきではなく。
- ・コロナ禍で事業者の経営状況が厳しいなか、多くのヒアリングや分析をしていただいたと思います。

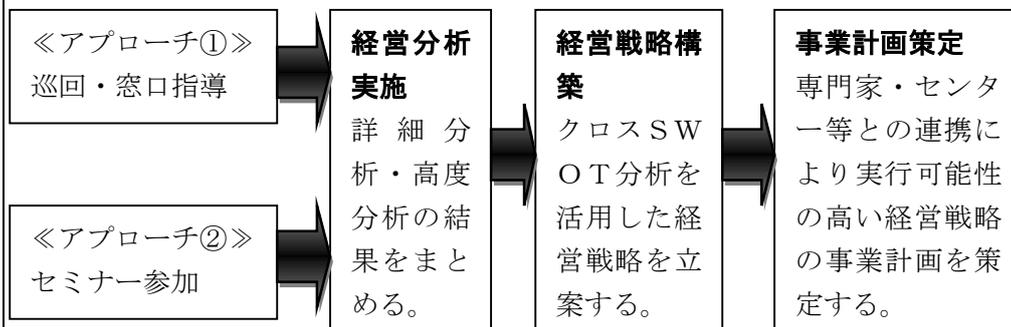
3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

【事業内容】

(1) 既存事業者向け支援

下記の2つのアプローチ(①巡回・窓口指導、②セミナー参加)及び“事業計画策定のフロー”に沿って、事業計画策定の支援を行った。

【事業計画策定のフロー】



①巡回・窓口指導を通じた事業計画策定支援

前述『2. 経営状況の分析に関すること【指針①】』で経営分析を実施した小規模事業者等に対し、巡回・窓口指導時に事業計画策定の必要性・重要性の説明・周知を行った。また、巡回・窓口指導を通じた事業計画策定の潜在的な需要の掘り起しも展開し、事業計画策定セミナーへの参加を促した。

②事業計画策定セミナーによる事業計画策定支援

下記の通り、事業計画策定セミナーを開催した。セミナーでは、事業計画の必要性・重要性などの説明・周知を行い、セミナー参加者には、刈谷商工会議所の事業計画策定支援の窓口として利用頂ける旨をPRし、事業計画策定への着手の実行率を高めた。

日時	セミナータイトル	講師	参加人員
R3. 1. 19	経営革新計画作成セミナー ～激変する環境を生き残るために～	株式会社アイリンク 代表取締役 照井 清一 氏	11名

(2) 創業者向け支援

①創業セミナーの開催

刈谷市内での創業の促進を図るため、「kariya創業スクール」や「創業セミナー」を開催することにより、主に、創業予定者の掘り起しを図った。研修内容としては、創業の心構えと基礎知識、ビジネスプランの作成、ビジネスプランのプレゼンテーションなどの研修を行った。また刈谷市の補助金制度の活用や、愛知県信用保証協会の創業融資制度の活用、刈谷商工会議所の「創業支援窓口」を積極的にPRし、起業意識や計画経営の重要性などを啓発し、創業予定者の今後の創業計画策定を伴走型により支援を行った。

日時	セミナータイトル	場所	参加人員
R2. 10. 3～ R2. 11. 7	Kariya 創業スクール	刈谷商工会議所	22名 (17名)
R3. 1. 9	創業セミナー	知立市中央公民館	9名 (1名)

※ () は刈谷市内の方です。

3. 事業計画策定支援に関する こと【指針②】

【評価】

A	B	C	D
6	0	0	0

【委員のコメント】

- ・目標を大きく超えて実施。
- ・伴走型でのサポートは有益である。今後も積極的に支援していきたい。
- ・創業を考えている方にとって会議所は頼れる存在ですので、引き続き寄り添った支援をお願いします。

〔目標・実績・達成率〕

(1) 既存事業者向け支援

事業計画策定事業所

支援分類	件数
小規模事業者持続化補助金申請支援	71
経営革新計画策定支援	5
先端設備導入計画策定支援	3
計	79

実施内容	令和2年度			
	目標	実績	達成率	評価
事業計画策定セミナーの開催数	1回	1回	100%	A
事業計画策定セミナー参加者数	10名	11名	110%	A
事業計画策定件数 (事業承継計画策定を含む)	20件	79件	395%	A

(2) 創業者向け支援

実施内容	令和2年度			
	目標	実績	達成率	評価
創業セミナーの開催数	1回	2回	200%	A
創業セミナー参加者数	10名	31名	310%	A
創業計画策定件数 ※名簿⑥	5件	5件	100%	A

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

〔事業内容〕

(1) 既存事業者向けフォローアップ

事業計画の策定支援を行った経営指導員が、事業計画策定後も継続してその実施状況について、3ヶ月に1回を目安に、巡回等により、事業計画の進捗状況の確認を行い、新たに生じた経営課題や経営環境の変化に対して、適宜修正を行うことで事業計画の実効性を高めた。

支援分類	フォロー件数
マル経融資	80
小規模事業者持続化補助金申請支援	92
経営革新計画策定	7
計	179

(2) 創業者向けフォローアップ

創業計画を策定した創業予定者に対して、創業計画通りに事業を遂行できているかを確認し、計画達成に向け指導すべく3ヶ月に1回を目安に、経営指導員が巡回・窓口指導を通じて個別フォローアップを行い、経営課題に応じては専門家を帯同したり、補助金の情報提供を行うなど、伴走型で支援を実施した。

〔目標・実績・達成率〕

(1) 既存事業者向けフォローアップ

実施内容	令和元年度			
	目標	実績	達成率	評価
事業計画策定フォロー件数 ※延べ策定件数×4回	80回	179回	224%	A

(2) 創業者向けフォローアップ

実施内容	令和元年度			
	目標	実績	達成率	評価
創業計画策定フォロー件数 ※延べ策定件数×4回	20回	11回	55.0%	C

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

〔評価〕

A	B	C	D
2	4	0	0

〔委員のコメント〕

- ・コロナの影響もあり創業計画に影響が大きかったか。
- ・創業者向けフォローアップは、目標を下回っているものの、コロナ禍において、既存事業者向けのフォローアップが目標の2倍をこえていることは、高く評価できる。
- ・引き続き地域の事業者に寄り添った支援に努められたい。
- ・創業者向けのフォローアップ件数については残念である。積極的な投げ掛けを検討したい。
- ・経営革新計画策定支援が少ないため、実効性のある経営革新計画の策定と実行支援に期待したい。
- ・コロナ禍で創業の件数が少なかったと思うので、創業者向けの達成率は低くなると思います。

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

【事業内容】

(1) 刈谷産業まつりを活用した調査

刈谷産業まつり（例年11月の第一土曜・日曜開催）において、商品力・サービスの向上を図るための「アンケート調査」を実施していたが、**今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。**

【目標・実績・達成率】

実施内容	令和2年度			
	目標	実績	達成率	評価
刈谷産業まつりを活用した調査事業所数	5件	中止	—	—

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

【評価】

A	B	C	D	回答なし
1	0	0	1	4

【委員のコメント】

- ・コロナの影響で調査の中止はやむを得ない。
- ・実施未了のため、評価せず
- ・予定していた調査機会がコロナの影響でなくなっていることから評価せず。
- ・新型コロナの影響でイベント（産業まつり）が中止になってしまい仕方ない。今後は違う方法での調査方法の検討も必要。
- ・従来とは異なる方法でコロナ禍でも実行可能な方法を取り組むと良い。
- ・アンケート調査の実施方法を今後見直してもよいのではと思います。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】

【事業内容】

(1) メッセナゴヤ出展支援事業

メッセナゴヤは、愛知万博の理念(環境、科学技術、国際交流)を継承する事業として2006年にスタートした「異業種交流の祭典」。業種や業態の枠を超え、幅広い分野・地域からの出展を募り、出展者と来場者相互の取引拡大、情報発信、異業種交流を図る日本最大級のビジネス展示会です。

今年度のメッセナゴヤ2020は、11月16日(月)～12月11日(金)、オンライン開催。9,666名の来場を得て開催された。

(2) 商談会・ビジネスマッチング事業

①地域商談会(三河・知多会場)

地域商談会(三河・知多会場)は、三河・知多地区(半田、常滑、東海、大府、刈谷、碧南、安城、西尾、岡崎、豊田、蒲郡、豊川、豊橋)の製造業を中心とした個別面談方式による受発注商談会や、受注企業相互の情報交換を目的とした交流会を(公財)あいち産業振興機構はじめ該当地区の13会議所と連携して開催するものです。

今年度の地域商談会は、2月25日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

②アライアンス・パートナー発掘市

アライアンス・パートナー発掘市は、愛知県内の22会議所が実施する事前調整型のビジネスマッチング支援サービスのことで、中小・小規模事業者の販路開拓と認知度の向上を図るものです。

今年度のアライアンス・パートナー発掘市は、6月24日(月)～28日(金)、実施した商談件数1,238商談、エントリー企業数668社、商談に至った企業数534社という実績が得られた。

(3) かりや商人大学事業(※補足資料⑥)

かりや商人大学事業は、平成24年度より実施する事業であり、大型店にはない“親しみやすさ”と“対面でのコミュニケーション”を活かして、個店の事業主が講師となり、個店の魅力を市民向けにセミナーを開催することで、個店の集客力の向上と地域経済活性化を図る目的の事業です。

今年度には、全13講座開催(緊急事態宣言の発出により一部講座中止)し、延べ262名の市民の参加を頂いた。

(4) かりやビジネス創造塾事業

かりやビジネス創造塾とは、経営課題を持ち、価値観の変化を先取りするビジネスの強化(自社の優位性の追求)を目指す事業者に対し、企業価値そのものを磨き、新たな成長の道筋を提案する事業です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

(5) 地元新聞・地域情報誌等による広報支援

小規模事業者の新品・サービス等を西三河地域に周知するために、中日新聞、中部経済新聞、キャッチネットワーク、刈谷ホームニュース等を通じて、小規模事業者の特徴ある情報を提供し、報道機関の紙面への掲載を依頼した。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】

【評価】

A	B	C	D
3	2	1	0

【委員のコメント】

・リアルな事業は軒並み中止となり、バーチャル開催になるなど影響が大きかった。新たな方法も検討できるとよい。

・コロナの影響で開催中止あり、止む無し

・新型コロナウイルスの影響で、地域商談会、かりやビジネス創業塾が開催できなかったことは残念ではあるが、その他の事業については、効果があったと推察する。特に、広報支援については、小規模事業者の感謝(喜び)の声が当方にも伝わってきた。

・コロナ禍で中止となる事業があるなか、可能な範囲で適切に調査いただいたと思います。

〔目標・実績・達成率〕

施内容		令和2年度			
		目標	実績	達成率	評価
メッセナゴヤ	出展事業者数	5	8	160%	A
	商談成約件数	1	調査中	—	—
地域商談会	参加事業者数	10	中止	—	—
	商談成約件数	2	中止	—	—
アライアンス・パートナー 発掘市	参加事業者数	10	5	50%	C
	商談成約件数	2	調査中	—	—
かりや商人大 学	参加事業者数	25	13	52%	C
	売上アップ事業所数	5	調査中	—	—
かりやビジネ ス創造塾事業	参加事業者数	25	中止	—	—
	売上アップ事業所数	5	中止	—	—
地元新聞・地 域情報誌広報 支援	事業者数 ※名簿⑧	5	24	480%	A
	売上アップ事業所数	1	調査中	—	—

※実績は刈谷市内の企業です。

II. 地域経済の活性化に資する取組

(1) 中心市街地の活性化

①中心市街地活性化事業の推進

刈谷市都心交流エリア活性化協議会ワークショップ（毎月開催）

②商店街集客イベント等による地域経済活性化と、魅力ある個店の育成 かりや商業まつり

主 催	刈谷商工会議所・刈谷市商店街連盟・刈谷市
実施内容	来店促進を図る「レシートラリー企画」
開催期間	11月16日（土）～12月31日（火）（46日間）
有効 応募件数	3,162枚
効 果	商店街集客イベント等による地域経済活性化と、魅力ある個店の育成

(2) 観光振興

①刈谷産業まつり

主 催	刈谷市（商工業振興課）・刈谷商工会議所
実施内容	出展企業による製品・商品の展示及び即売
開催時期	11月第1土曜・日曜（2日間）
来場者数	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
効 果	地域商工業者の販売機会創出と認知度向上、地域の賑わい創出

③刈谷わんさか祭り

主 催	刈谷市（文化観光課）、刈谷市観光協会
共 催	刈谷商工会議所、刈谷市商店街連盟、刈谷市レクリエーション協会
開催時期	花火大会8月第3土曜
来場者数	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
効 果	地域商工業者の販売機会創出と認知度向上、地域の賑わい創出

(3) 雇用創出支援

①刈谷合同就職フェア

主 催	刈谷商工会議所・刈谷労働基準監督署・刈谷公共職業安定所
実施内容	働き方改革に取り組む事業所・外国人採用に意欲のある企業による「刈谷合同就職フェア」
開催時期	1月上旬
出展企業	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
来場者数	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
効 果	求職者と地元企業の交流による雇用機会創出

II. 地域経済の活性化に資する取組

【評価】

A	B	C	D
4	1	1	0

【委員のコメント】

- ・コロナの影響を受けたものを除いて目標を達成。
- ・コロナの影響で開催中止あり、止む無し
- ・新型コロナウイルスの影響で計画していた事業（刈谷産業まつり・刈谷わんさか祭り・刈谷合同就職フェア）が中止になり、残念であったが、他の事業については、（かりや商業まつり・企業合同説明会）実施できたとのこと、今後も継続開催を望みたい。
- ・コロナ禍で中止となる事業があるなか、可能な範囲で事業を適切に実施されたと思います。

②刈谷工業高等学校との連携による「企業合同説明会」

主催	刈谷商工会議所・刈谷市雇用対策協議会
実施内容	刈谷工業高等学校の高校生・保護者向け企業合同説明会 対象：高校1・2年生とその保護者
開催時期	3月17日（水）・18日（木）15:00～17:00
参加人員	高校生延べ171名 保護者19名 計延べ190名
参加企業	23社
効果	若手人材と地元企業の交流による雇用機会創出



③知立高等学校との連携による「企業合同説明会」

主催	刈谷商工会議所・刈谷市雇用対策協議会
実施内容	知立高等学校の高校生・先生向け企業合同説明会 対象：就職希望の高校生（2年生）と先生
開催時期	11月9日（月）
参加人員	就職希望の2年生46名
参加企業	15社
効果	若手人材と地元企業の交流による雇用機会創出



④高浜高等学校との連携による「企業合同説明会」

主催	刈谷商工会議所・刈谷市雇用対策協議会
実施内容	高浜高等学校の高校生・先生向け企業合同説明会 対象：普通科・福祉科の高校生（1年生）と先生
開催時期	3月11日（木）
参加人員	1年生240名
参加企業	15社
効果	若手人材と地元企業の交流による雇用機会創出



Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

西三河地区商工会議所中小企業相談所長会議の開催

開催時期	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
参加機関	西三河地区商工会議所（岡崎、豊田、刈谷、碧南、安城、西尾）
開催内容	各商工会議所が持っている事業計画策定や計画経営を実践している事業所等、経営支援事業の成功事例の情報共有を行う。
活用方法	情報交換した内容を持ち帰り、管内の経営支援事業に活かす。

2. 経営指導員等の資質向上に関すること

研修会・セミナーへの参加

開催日	内容	研修テーマ	参加者
12月8日	労働講座	「労働契約終了時のトラブル防止」	市古 由美
12月8日	セミナー	中小事業者向け省エネセミナー	杉浦 恭章 大毛 陽介
11月30日	セミナー	海外知的財産セミナー	安達 拓也
12月3日	セミナー	コロナ禍におけるビジネスチャンスとしてのSDGsセミナー	伊藤 良太
12月14日	補助員研修	補助員対象基礎研修	山田 とも子 岡村 真由美
12月11日 12月18日	経営指導員等 専門研修 (Web校)	webマーケティング支援の進め方	大毛 陽介
10月21日 10月28日		支援機関に求められる事業承継支援	杉浦 恭章
10月5日 10月14日		伴走型支援に役立つ傾聴力と質問力	安達 拓也
9月24日 9月30日		商店街活性化支援の進め方	伊藤 良太

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

経営発達支援事業評価委員会の開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議の開催は中止し、メール・電話で事業評価を実施。

開催日時	3月
構成メンバー	<p>【事業評価委員長】 刈谷商工会議所 副会頭 鈴木 豊</p> <p>【支援機関】</p> <p>①刈谷市商工業振興課係長 嶋田 宏司 ②日本政策金融公庫岡崎支店課長 福山 敏一 ③愛知県信用保証協会 経営支援部支援連携課副長 大野 耕嗣 ④あいち産業科学技術センター産業技術センター主任研究員 太田 幸伸</p> <p>【中小企業診断士】刈谷モノづくり大学教授 ①中小企業診断士 神谷 正仁 ②中小企業診断士 照井 清一</p>

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

【評価】

A	B	C	D
4	1	1	0

【委員のコメント】

・コロナの影響を受けたものを除いて目標を達成。
・コロナの影響で開催中止あり、止む無し
・経営指導員はじめ、会議所スタッフのスキルアップのための各種研修・セミナー派遣を実施は素晴らしい。会議所内での知識の共有化の仕組みづくりが望まれる。
・様々なテーマの研修に参加されていると思います。ぜひノウハウを経営指導や支援に生かしていただきたいと思います。